

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場会社名 イマジニア株式会社
 コード番号 4644 URL <http://www.imagineer.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 神藏 孝之
 (氏名) 中根 昌幸

TEL 03-3343-8911

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	755	2.9	130	29.7	141	66.8	109	238.7
25年3月期第1四半期	734	△30.7	100	△30.1	85	△41.4	32	△68.2

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 18百万円 (2.3%) 25年3月期第1四半期 18百万円 (△82.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	11.40	—
25年3月期第1四半期	3.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	8,496	7,983	93.9	831.36
25年3月期	8,985	8,079	89.9	841.42

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 7,979百万円 25年3月期 8,075百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	10.00	—	12.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,576	△23.0	111	△79.2	161	△68.4	124	△63.8	12.95
通期	3,974	7.7	730	0.7	780	1.3	550	7.6	57.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	10,649,000 株	25年3月期	10,649,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	1,051,321 株	25年3月期	1,051,290 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	9,597,686 株	25年3月期1Q	9,597,782 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。
なお、上記予想に関する事項は【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果により持ち直しの動きが見られデフレも緩和しつつあり、さらなる景気回復が期待されますが、世界経済の下振れによる影響が懸念されます。

当社グループの主力事業であるモバイルコンテンツ事業を取り巻く環境は、スマートフォンを中心とした携帯電話端末やタブレット端末などの普及により、音楽・映像・電子書籍等のコンテンツサービスが広がりを見せております。

このような環境下におきまして、主力であるモバイルコンテンツ事業の事業環境はフィーチャーフォンからスマートフォンへの移行が急速に進んでおります。当社グループもフィーチャーフォン向け有料サービスを中心としたビジネスから新たなビジネス構築が急務となっており、中期的な経営の方向性でもある「新たな成長へのチャレンジ」の実現に向けて取り組んでおります。

なお、当社グループでは、「新たな成長へのチャレンジ」に向けて、平成25年4月1日付で次の会社再編を行っております。書籍「野球太郎」等の制作及び出版を行うナックルボールスタジアム株式会社の保有するコンテンツ及び企画力の高さを当社グループと融合することで、より魅力的なコンテンツの提供を目的としてナックルボールスタジアム株式会社を当社に吸収合併しております。また、投資教育事業の専門性を高めて事業拡大することを目的として当社から投資教育事業を分社化しイマジニア・インベストメントエデュケーション株式会社を設立しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高755,962千円（前年同期比2.9%増）、営業利益130,838千円（前年同期比29.7%増）、経常利益141,856千円（前年同期比66.8%増）、四半期純利益109,476千円（前年同期比238.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(モバイルコンテンツ事業)

モバイルコンテンツ事業におきましては、ビジネス環境が大きく変化する状況において、「auスマートパス」「NTTドコモ スゴ得コンテンツ」等のキャリア主導サービスの提供の拡大、メッセージサービス「LINE」へのコンテンツ提供の強化、ユーザー満足度の高いスマートフォン向けコンテンツの提供によるスマートフォン月額課金サービスの会員数増加などの取り組みによって、当該事業のビジネス範囲の拡大を図っております。

上記の結果、売上高581,574千円（前年同期比7.5%減）、セグメント利益239,577千円（前年同期比11.5%減）となりました。

(モバイルコマース事業)

モバイルコマース事業におきましては、デジタルコンテンツの連携を図り集客を強化することによって、スマートフォン向けのコマースビジネスの拡大に取り組んでおります。

また、ライセンス及びセールスプロモーションビジネスとしてライセンス提携先の拡充に、継続して取り組んでおります。

上記の結果、売上高102,139千円（前年同期比100.2%増）、セグメント損失4,130千円（前年同期は16,800千円のセグメント損失）となりました。

(パッケージソフトウェア事業)

パッケージソフトウェア事業におきましては、ニンテンドー3DS向けタイトルを下期に数タイトル発売すべく開発に取り組んでおります。

上記の結果、売上高1,855千円（前年同期比84.4%減）、セグメント損失53,120千円（前年同期は62,346千円のセグメント損失）となりました。

(投資教育事業)

投資教育事業におきましては、銀行及び証券会社が投資信託を販売するための支援ツールである投資信託提案支援システムの銀行及び証券会社の導入先の拡大に取り組んでおります。また、タブレット版の開発にも取り組んでおります。

上記の結果、売上高70,411千円（前年同期比64.8%増）、セグメント利益12,896千円（前年同期は22,756千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して489,051千円減少した8,496,792千円となりました。その主な要因は、投資有価証券が321,663千円の増加となったものの、現金及び預金が707,820千円の減少となったことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して392,513千円減少した513,352千円となりました。その主な要因は未払法人税等が239,826千円の減少となったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して96,538千円減少した7,983,439千円となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金が90,877千円減少となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績見通しは、平成25年5月10日付の決算短信で公表した数値からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第1四半期連結累計期間において、イマジニア・インベストメントエデュケーション株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,293,493	5,585,673
売掛金	654,518	558,630
有価証券	74,261	74,841
商品及び製品	17,891	17,765
仕掛品	1,244	9,988
原材料及び貯蔵品	12	1
その他	159,044	128,921
貸倒引当金	△15,155	△16,254
流動資産合計	7,185,310	6,359,567
固定資産		
有形固定資産	79,295	74,936
無形固定資産	50,965	48,116
投資その他の資産		
投資有価証券	1,350,470	1,672,134
その他	343,560	363,997
貸倒引当金	△23,759	△21,959
投資その他の資産合計	1,670,272	2,014,172
固定資産合計	1,800,532	2,137,224
資産合計	8,985,843	8,496,792
負債の部		
流動負債		
買掛金	60,882	10,074
営業未払金	313,601	249,918
未払法人税等	293,987	54,161
賞与引当金	—	4,500
その他	237,395	194,697
流動負債合計	905,865	513,352
負債合計	905,865	513,352
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,669,000	2,669,000
資本剰余金	2,466,023	2,466,023
利益剰余金	3,549,527	3,543,831
自己株式	△622,299	△622,323
株主資本合計	8,062,250	8,056,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,500	△77,377
その他の包括利益累計額合計	13,500	△77,377
新株予約権	4,226	4,286
純資産合計	8,079,977	7,983,439
負債純資産合計	8,985,843	8,496,792

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	734,400	755,962
売上原価	290,680	322,605
売上総利益	443,720	433,357
販売費及び一般管理費	342,827	302,518
営業利益	100,893	130,838
営業外収益		
受取配当金	16	4,597
投資事業組合運用益	—	11,397
貸倒引当金戻入額	1,800	1,800
その他	1,157	641
営業外収益合計	2,973	18,436
営業外費用		
投資事業組合運用損	1,761	—
為替差損	10,811	5,217
持分法による投資損失	6,267	2,189
その他	—	11
営業外費用合計	18,840	7,418
経常利益	85,025	141,856
特別利益		
投資有価証券売却益	—	207,816
固定資産売却益	20,000	—
負ののれん発生益	—	5,002
特別利益合計	20,000	212,818
特別損失		
投資有価証券評価損	3,492	—
投資有価証券売却損	—	142,595
特別損失合計	3,492	142,595
税金等調整前四半期純利益	101,533	212,079
法人税、住民税及び事業税	59,452	60,963
法人税等調整額	9,755	41,639
法人税等合計	69,207	102,602
少数株主損益調整前四半期純利益	32,325	109,476
四半期純利益	32,325	109,476

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	32,325	109,476
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△14,140	△90,877
その他の包括利益合計	△14,140	△90,877
四半期包括利益	18,184	18,598
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,184	18,598
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	モバイル コンテンツ 事業 (千円)	モバイル コマース 事業 (千円)	パッケージ ソフト ウェア事業 (千円)	投資教育 事業 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	628,809	51,015	11,845	42,729	734,400	—	734,400
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	71	—	71	(71)	—
計	628,809	51,015	11,917	42,729	734,472	(71)	734,400
セグメント利益 (又は損失)	270,804	(16,800)	(62,346)	(22,756)	168,900	(68,007)	100,893

(注) 1. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去△170千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△67,837千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益(又は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	モバイル コンテンツ 事業 (千円)	モバイル コマース 事業 (千円)	パッケージ ソフト ウェア事業 (千円)	投資教育 事業 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	581,574	102,139	1,837	70,411	755,962	—	755,962
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	17	—	17	(17)	—
計	581,574	102,139	1,855	70,411	755,980	(17)	755,962
セグメント利益 (又は損失)	239,577	(4,130)	(53,120)	12,896	195,222	(64,384)	130,838

(注) 1. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去545千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△64,930千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益(又は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。